

改訂日 2025年11月12日 (第5版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アシュラスター液剤
デザインコード	A19553A
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
急性中毒の緊急問い合わせ先	日本中毒情報センター 中毒110番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪(365日・24時間): 072-727-2499 つくば(365日・24時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(1件につき2000円): 大阪(365日・24時間): 072-726-9923 つくば(365日・24時間): 029-851-9999
推奨用途	除草剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
水生環境有害性 短期(急性)	区分3
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	H402 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P273 環境への放出を避けること。
応急措置	—
保管	—
廃棄	P501 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常 特になし
事態の概要

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	CAS No.	含有量 (%)	官報公示整理番号
アシュラム	3337-71-1	30.0	(9)-2098
MDBA カリウム塩	10007-85-9	3.3	3-3053 (MDBA として)
水酸化カリウム	1310-58-3	< 1	1-369

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。 呼吸が停止している場合や不規則な状態である場合、人工呼吸を行う。 患者を暖かく安静にしておく。 直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱がせる。 直ちに多量の水を用いて洗い流す。 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。 汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに最低 15 分間以上まぶたの内側も含め多量の水ですすぐ。 コンタクトレンズを外す。 直ちに医師の診察／手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受け、製品容器又はラベルを見せる。 無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。 重篤な眼の損傷。
医療関係者への情報	専用解毒剤は入手できない。 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
	大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、水噴霧

使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
有害燃焼副産物	炭素酸化物 窒素酸化物(NOx)
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。 水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及 び機材	汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。

参照すべき他の項目

処分上の配慮については項目 13 を参照。「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	個人用保護具に関する情報については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。 眼や皮膚への接触を避ける。 取扱い時には飲食、喫煙をしないこと。
接触回避	知見なし

保管

安全な保管条件	換気の良い乾燥した冷暗所で、容器を密閉して保管する。 子供の手の届かないように保管する。 食品、飲料や飼料とから離して保管する。
---------	--

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
MDBA (ダイカンバ)	1918-00-9	TWA	5 mg/m ³	Syngenta

設備対策

ばく露が避けられない場合、放出源を密閉および／または隔離する。
保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つ。
必要に応じて、労働衛生関連追加情報を求める。

保護具

呼吸用保護具

作業者がばく露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。
顔面マスク付の呼吸器。
マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度(ガス/蒸気/エアゾール/粒子)に適したものでなければならない。

手の保護具

必要に応じて、適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具

密着性の高い安全ゴーグル型。
フェイスシールド。

皮膚及び身体の保護具

個人用保護具ではなく専門の保護具の使用を優先すること。
個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること。
耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡褐色澄明
臭い(閾値)	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

pH	9.03 (20 %水溶液)
蒸発速度	データなし
燃焼価	データなし
比重	1.19 (20 °C)
かさ密度	データなし
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
動粘度	データなし
溶解度	
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
自己発熱性化学品	データなし
表面張力	データなし
最低点火エネルギー	データなし
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	ほとんどないと考えられる。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	通常の下条件下では生成しない。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の 情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合
--------------------	---

急性毒性

データが不足しているため分類されていない。

製品

急性毒性(経口)	LD50(ラット, メス): > 2,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	LD50(ラット, オス・メス): > 2,000 mg/kg

成分

MDBA(ダイカンバ)

急性毒性(経口)	LD50(ラット,メス): 1,581 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50(ラット, オス): 4.46 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト
急性毒性(経皮)	LD50(ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

皮膚腐食性/刺激性

毒性試験の結果、皮膚刺激性は認められなかった。

製品

種	ウサギ
結果	皮膚刺激性なし。

成分

MDBA(ダイカンバ)

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

毒性試験の結果、ごく弱い眼刺激性があったが、区分 2B の判定には及ばなかった。

製品

種	ウサギ
結果	極弱い刺激性。24 時間後には回復した。

成分

MDBA(ダイカンバ)

種	ウサギ
結果	眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

動物実験の結果、皮膚感作性は認められなかった。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

製品

種	モルモット
結果	皮膚感作性ではない。

成分

MDBA(ダイカンバ)

種	モルモット
---	-------

結果 皮膚感作性ではない。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分

MDBA(ダイカンバ)

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

成分

MDBA(ダイカンバ)

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

成分

MDBA(ダイカンバ)

生殖毒性 - アセスメント 生殖に対する毒性はない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

成分

MDBA(ダイカンバ)

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

魚毒性 LC50(コイ): > 1,000 mg/l

ばく露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎 EC50(オオミジンコ): 380 mg/l

動物に対する毒性 ばく露時間: 48 h

藻類／水生植物に対する
毒性

ErC50(藻類): 110 mg/l
ばく露時間: 72 h

成分

MDBA(ダイカンバ)

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 100 mg/l
ばく露時間: 96 h

藻類／水生植物に対する
毒性

EC50 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): 0.58 mg/l
ばく露時間: 120 h
最大無影響濃度 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): 0.011 mg/l
ばく露時間: 120 h
ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): > 87 mg/l
ばく露時間: 72 h
EC10 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 81 mg/l
エンドポイント: 成長速度
ばく露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有
害性 短期(急性))
魚毒性(慢性毒性)

1
NOEC (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 180 mg/l
ばく露時間: 21 d

ミジンコ等の水生無脊椎
動物に対する毒性(慢性
毒性)

NOEC (Daphnia magna (オオミジンコ)): 計算値 > 84 mg/l
ばく露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有
害性 長期(慢性))
微生物に対する毒性

1
IC50 (活性汚泥): > 500 mg/l
ばく露時間: 3 h

残留性・分解性

データなし

成分

MDBA(ダイカンバ)

生分解性

結果: 易分解性ではない。

水中での安定性

分解半減期: 35 - 46 d
備考: 製品は持続性ではない。

生体蓄積性

データなし

成分

MDBA(ダイカンバ)

生体蓄積性

データなし
備考: 低い生態蓄積性。

n-オクタノール／水分配係
数 (log 値)

log Pow: -1.8 (25 °C、pH 6.8)
log Pow: -1.9 (25 °C、pH 8.9)
log Pow: -0.55 (25 °C、pH 5.0)

土壌中の移動性

データなし

成分

MDBA(ダイカンバ)

環境中の分布
土中での安定性

備考: 地中において非常に高移動性。
消失時間: 1.4 - 11 d
消失割合: 50 % (DT50)
備考: 製品は持続性ではない。

オゾン層への有害性
データなし

他の有害影響
データなし

成分

MDBA(ダイカンバ)

PBT および vPvB の評価 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。
結果

内分泌かく乱の可能性 物質には内分泌かく乱特性はありません。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装 残りの内容物を空にする。
容器は3回すすぐ。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG) 該当しない

航空輸送(IATA-DGR) 該当しない

海上輸送(IMDG-Code) 該当しない

海洋汚染物質 該当しない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

緊急時応急措置指針番号 該当しない

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号 第 23081 号

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(則 34 条の 2 別表2)

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(則 30 別表2)

非該当

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 非該当

個品輸送 非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。

2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

JIS Z 7252, JIS Z 7253 2019 に準拠

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。